



説教	約束された聖霊	……	鈴木美津子	……	1
大信仰問答	CATS・愛①				
	エッセイ「第5章 十字架の贖い」	……	山本 盾	……	2
	新約聖書に聴く「主の祈り」(5)	……	後藤 憲正	……	3
■	教会、この地とともに④	明石大久保教会			
	明石の地とともに	……	戸田 拓也	……	4
目次	SDGsについて考える①	世代を越えた責任を共に担うために			
		……	藤田 浩喜	……	6
	次世代へのメッセージ⑤	「子を生む教会」を目指して			
		……	中島 英行	……	6
■	定期中会報告				
	再出発の春	……	北海道中会	……	7
	コロナ禍3年目、新しい一歩を	……	東京中会	……	7
	主が良いと思われることを行ってくださいように				
		……	九州中会	……	8
	教会ニュース				8

約束された聖霊

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。
(使徒言行録1章3-14節)

すずき みつこ
鈴木美津子

使徒言行録の著者ルカは、主イエスが復活された後、40日にわたってこの地上にとどまり、ご自身の姿を弟子たちに現され、その後、天に昇られたと記しています。そうすると、今年のイースターは、4月17日ですから、「主イエスの昇天」記念日は、それから数えて40日目の木曜日、5月26日になります。

主イエスは、弟子たちの元に聖霊を送ることを約束され、天に昇られました。弟子たちが地の果てに至るまでキリストの証人として生きるためには、この約束の聖霊が弟子たちに与えられ、導かれる必要があったからです。

主イエスの昇天を目撃し、しばらくそのまま天を見つめる弟子たちでした。「これからずっと、主イエスと一緒にいられる」。そう考えて喜んでいた弟子たちの前から、主イエスが突然天に昇り、姿を隠してしまったのですから、弟子たちは驚き、混乱しませんでした。

しかし、そこに「白い服を着た二人の人」が現れ、杳然と天を見つめる弟子たちに主イエスが再びこの地上においでになる「再臨」の希望を語ったのです。その後、弟子たちはイエスの昇天の出来事があった場所から、エルサレムの町の中にある彼らの宿泊場所に戻りました。この場所は主イエスが地上での最後の晩、弟子たちと食事を共にされたあの「最後の晩餐」が行われた場所ではなかったかと推測されます。

弟子たちは、その場所で、兄弟姉妹たちと共に心を合わせて熱心に祈り始めました。興味深いことは、使徒言行録がこの場所に集っている主イエスの弟子たちの名前を記録しているということです。主イエスをユダヤ人に売り渡し、彼を十字架につけて殺すための手引きしたイスカリオテのユダはすでに死ん

でいましたから、彼以外の弟子たちの名前が記されています。彼らは皆、主イエスによって招かれて、弟子とされた者たちです。あえて、ここで弟子たちの名前が一人一人挙げられているのは、彼らの人生の再出発がこの場所から始まったことを物語っているということになるでしょうか。

その弟子たちが新しい歩みを始めるためには、どうしても必要なものがありました。「聖霊」です。主イエスが昇天の直前に約束された聖霊が彼らの上に降ることでした。この約束の聖霊が降らなければ、彼らの歩みは、主イエスに導かれた歩みではなく、単なる人間的な歩みになってしまうからです。

ですから、彼らはエルサレムの宿泊場所の一室に帰って、共に祈り始めたのです。この出来事は、キリストの教会が、キリストの体として活動していくためには、皆が心を合わせて、共に祈る必要があることをわたしたちに教えています。

皆が心を合わせて一つにして主に祈る教会、そして神を礼拝する教会に、天におられる主イエスは、今も、そしてこれからも約束された聖霊を送ってください。そして、このキリストの教会を通して、主イエス・キリストの御業がこの地上に実現するのであります。

主イエスの昇天の出来事から既に2000年余りが過ぎました。しかし、「以上すべてを証しする方が、言われる。『然り、わたしはすぐに来る。』」(ヨハネの黙示録22:20)と、主は約束されています。わたしたちは、主が再びこの地上に来られる「再臨」の実現を心待ちにし、そのために、キリストの教会は、祈りと礼拝を捧げ続けていくのです。

アーメン、主イエスよ、来てください。

(浦和教会牧師)